

「日米同盟強化は横田気象隊から」

【第9回】日米同盟強化は横田気象隊から

航空気象群ホームページコラム「気象の社」を御覧いただきありがとうございます。

愛読者の皆さんも、今回初めてご覧になられた皆さんも、どうぞよろしくお願ひします。本コラムにより、自衛隊への理解を深め興味・関心を持って頂ければ幸いです。

さて、新年最初のコラムは、在日米軍司令部がある横田基地より「日米気象交流」についてお話しします。本ホームページの「隊員の活動」欄でも紹介があるとおり、近年は諸外国と自衛隊の部隊間の交流が盛んに行われております。ここ横田基地には気象部隊も含めた日米の部隊が Face to Face の距離に位置することから、日米交流が活発な基地の一つとなっており、様々な日米交流行事を開催しております。(詳しくは是非、横田基地ホームページをご覧ください。) そのため、気象部隊においても共同訓練や演習等の際には、世界中から収集した気象データ等(本コラム第1回をご参照下さい。)に基づき、日米気象調整を実施しているほか、日米の相互理解を深めるため、両国の伝統的行事の楽しさを共に味わい、大切な時間を共有しています。

昨今、「災害等不測事態発生時における気象観測(令和4年12月コラムをご参照下さい。)」は、国内外を問わず、その必要性が高まっている状況です。災害時においては、被災地の地域特性を考慮した気象予報が求められます。そのため、平素からあらゆる事態を想定し、様々な地域・地点のデータを収集し、特性を踏まえた予報を行うことで経験値と精度を高める訓練を実施しています。

日本国内及び極東地域における詳細な気象予報は、全国に点在する航空気象群の各部隊が得意とするところであり、米軍の気象部隊からもその精巧さに一目が置かれ、活用価値が高いと評されるほどです。一方、世界中に点在する米軍部隊が持つノウハウは、全球規模での擾乱発生や天候の傾向把握、国外任務・訓練時の気象予報に大きく役立ちます。最新かつ精度の高い緻密なデータと世界中に幅広く拠点を持つ米軍の強みの組み合わせは、国内外を問わず、何時、如何なる場所で発生する不測事態に対しても、迅速かつ効果的に気象支援を実施し、作戦部隊を全力で支えています。そのため、我々は 今後も引き続き、“日米同盟強化は横田気象隊から”をモットーに、「日米気象交流」を実施していきます。

最後に、横田基地では民間の方でも参加いただける日米交流行事を開催しております。御興味のある方は是非お立ち寄りください。

(集合写真撮影時のみマスクを外しています。)

【西瓜割り】



【ハロウィン】



【餅つき】



【日米気象調整】

